第１回　新潟県地震被害想定調査・検討委員会　議事要旨

１　日　時　　令和元年 11 月７日（木）　14:30～17:00

２　会　場　　新潟県庁８０３会議室

３　出席者　　別添　第１回新潟県地震被害想定調査検討委員会出席者名簿　参照

４　委員会の運営

（１）本委員会の公開・非公開について

新潟県の『付属機関等の会議に関する指針』に従い「公開」で行う。

（２）委員長の選任及び副委員長の指名

議事進行に先立ち、委員長及び副委員長を決定。

〇委員の互選により、大塚委員を委員長に選出。

〇大塚委員長からの指名により、加藤委員を副委員長に指名。

５　議事要旨

（１）議題

別添、議事次第（案）　参照

（２）決定事項

詳細な被害想定を行う震源断層については、地域バランス、発生確率、連動の可能性等を考慮し、内陸６断層（櫛形山脈断層帯、月岡断層帯、長岡平野西縁断層帯、高田平野西縁断層帯、六日町断層帯南部、十日町断層帯西部)、海域３断層（Ｆ34、Ｆ38、Ｆ41）とする。

（３）議事毎の主な意見

議題１　地震被害想定調査について

〇「パソコン上で稼働する地震被害想定システム」について

・　断層の設定方法を検討すること。
・　他県事例について紹介すること。
・　システムの仕組みについて検討すること（基礎データのみをアップデートできる等）。

〇減災効果測定について

・　様々な想定被害について可能な限り検討すること。

〇　防災・減災啓発資料について

・　県民に対する被害想定結果の見せ方については工夫が必要。
・　単純に倒壊率等ではなく県民が意識して減災対策に取り組めるよう工夫が必要。
・　減災対策におけるソフト対策は定量化しにくいため、整理方法の検討が必要。

〇その他

・　調査の流れ、委員会工程、次回委員会の議題について随時提示すること。
・　「人的被害の削減」→「人的被害の軽減」、「住宅被害の削減」→「住宅被害の低減」の表現修正とすること。

議題２　想定地震の設定について

- 長岡平野西縁断層帯および高田平野西縁断層帯は津波の影響が考えられるため、必要に応じて県の津波調査とほぼ同位置の震源を用いて被害想定を実施することを検討すること。
- 櫛形山脈断層帯と月岡断層帯の傾き方向等諸元について再度確認すること。
- 長岡平野西縁断層帯の位置は既往の活断層資料等を参考に設定するほうがよい。
- 想定震源断層については決定事項のとおり。

議題３　地震動における予測手法について

- 土石流や雪崩の評価については今後の検討課題とすること。
- 県内の既往地震との検証を行い、地震動の評価を行うこと（グリーン関数法、距離減衰式による予測結果の最大値の比較）。
- 地震基盤や工学的基盤の位置設定等に関する資料を提示すること。

議題４　地震被害想定項目について

- 発災シーンの風向については平均ではなく、最多頻度、卓越風向を捉えたほうがよい。
- 雨や雪などの気象状況も考慮できるかを検討すること。
- 積雪の影響については、物的・人的被害も想定されることから、今後の検討課題とすること。
- 複合災害については、最終的な被害想定に結び付けるのは困難であるが、何らかの形で盛り込むよう検討すること。